



〇ゆうパックからのお知らせ

ゆうパックの伝票が10月よりインボイス対応伝票以外は使用できません。
10月以前にセンターより伝票をお持ちになられた方は伝票の確認をお願いします。
インボイス対応伝票には伝票のお問合せ番号左に“クマのマーク”が印刷されています。

〇営業時間の変更について

令和5年11月30日(木) 15時まで営業
令和5年12月29日(金) 15時まで営業
令和5年12月30日(土) 休業

令和5年10月より土曜日の営業時間が12時までとなりました。
営業時間の変更に伴い、ゆうパックの受付時間も土曜日は11時までとなりました。

——【温州みかん】*下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行きましょう。——

収 穫 丁寧な収穫作業と貯蔵の管理を徹底しましょう。

貯蔵みかんの品質のバラつきをなくすため、果実の着色状況に応じて、2回以上に分けて収穫しましょう。
収穫適期を逃して、浮皮果にならないように注意して下さい。

※収穫の目安 ○大津四号 ⇒ 完全着色
 ○青島温州 ⇒ 8分色以上

果実管理

通常予措：コンテナ8分目ほどに軽く入れて、通気の良い貯蔵庫下屋等で10～15日間乾燥した空気にさらします。総量の5%程度の減量(しおれ)が目安です。(果皮がややしなびて弾力を持つ程度)

高温予措：着色促進と減酸を目的に、収穫直後に20℃で7日間果実を保温しておく。果実の傷からくる腐れが早いので、再度選果をしてから貯蔵・出荷をしましょう。

貯 蔵

予措終了後、温度3～5℃・相対湿度85%を目安に貯蔵します。朝夕の換気と定期的に点検で腐敗果を取り除きましょう。また、0℃付近になると低温障害をおこすので、寒波時は貯蔵庫を密閉しましょう。

病害虫防除等 収穫後の12月下旬～1月中旬(厳寒期の散布は避けましょう)

〇ミカンハダニ **アタックオイル 60倍 1.66ℓ/水100ℓ 又は**

〇ヤノネカイガラムシ **ハーベストオイル 60倍 1.66ℓ/水100ℓ 又は**

〇カイガラムシ類 **スプレーオイル 60倍 1.66ℓ/水100ℓ**

* 散布量は10aあたり500～600ℓを目安に、たっぷり散布しましょう。
(病害虫多発生の主な原因は、密植と薬剤のかけムラです。)

【中晩柑】

防寒・鳥害対策のため、袋がけやネット被覆を実施しましょう。園地や品種により差がありますが、1月中旬までには終了するように作業しましょう。

【お茶】

老朽茶園の改植準備

生産性の向上と良質茶の生産をはかるため、老朽茶園を改植することが必要です。

改植は抜根、天地返し、地ならしを計画的に行いましょう。その場合、石灰窒素をあらかじめ10aあたり80kg程度散布し、有機物の腐植化をはかりましょう。

【うめ】

冬季剪定 11月～12月

縮間伐と骨格作りを重視して主枝を配置し、内向枝・平行枝等の切除をします。

※ツボミを傷めないように、年内にノコギリ剪定（太い枝の処理）を終了させましょう。

1月下旬までに細部の剪定作業（整枝・剪定）を終えましょう。1年枝は全部取らず横から出ている弱い枝は残しておきましょう。

病害虫防除 12月下旬～1月上旬（開花前）

○カイガラムシ類・越冬病害虫 石灰硫黄合剤 7倍 14.2 ㍓/水 100 ㍓

12月～1月上旬 休眠期（落葉後～萌芽前）

○コスカシバ フェニックスフロアブル 200倍 樹幹部及び主枝に散布 開花期まで1回又は
ガットキラール剤 100倍 樹幹部及び主枝に散布 休眠期（落葉後～萌芽前）
2回 1 ㍓/水 100 ㍓

【キウイフルーツ】

整枝剪定 12月下旬～2月上旬（樹液の流動が始まる前に終了しましょう。）

一文字整枝を基本に主枝・亜主枝を明確にして、亜主枝は2～3m間隔で配置します。高樹齢樹は樹がいたむため亜主枝の更新は避けましょう。古い亜主枝でも葉数を確保し維持しましょう。

古い側枝（結果母枝）は先追いしないよう、亜主枝、主枝に近づける、切り戻し更新を行いましょう。

結果母枝は、充実した新梢と本年の結果枝を併用し配置します。春の風害を想定し、やや多めに残しましょう。大きい切り口にはトップジンMペーストを塗布しましょう。

病害虫防除 11月下旬～12月中旬

○かいよう病 ICボルドー66D 50倍 2kg / 水 100 ㍓

土壌管理 11月～2月

土壌改良剤として、苦土石灰の施用をしましょう。 100kg～200kg / 10a

農業を使用する際は、適用作物・希釈倍数・使用回数・使用方法等の使用基準を遵守するとともに飛散防止に努め、ラベルをよく確認し、必ずラベルに基づいて使用しましょう。